



早い災害復旧で仮設信号をなくそう！

崎本 広美 議員

災害復旧工事



質問（議員） 昨年の豪雨災害から一年半近く経過したが、復旧されていない箇所があり、また起こるかもしれない災害に対応できなくなる。早期復旧が喫緊の課題である。今後の方針は。

答弁（町長） 災害復旧事業の査定を受けている工事は、西ノ谷川と東大橋の上流を残して発注した。令和2年度中に完了するよう進捗

を図る。西ノ谷川は12月上旬に契約手続きを行う予定。東大橋の上流は、発注手続きを進めており、早い時期に着手する。

質問（議員） 新たな砂防ダムを築造するにも、途中の道路の復旧が終わらないと工事に着手できないし、仮設信号があれば、支障が出る。

答弁（町長） しっかりとやる。

富永 やよい 議員

福祉施策



質問（議員） 制度の狭間で社会的に孤立している人を支えるため、地域福祉の専門職であるコミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置事業を行い、地域福祉の充実を図ってはどうか。

答弁（町長） 広島県が策定中の地域福祉支援計画の中で配置が検討されている。その動向を見て本町の支援のあり方を検討する。

質問（議員） 障がいのある人やその家族の相談窓口、支援事業者へのサポート、成年後見人制度利用促進など、相談から支援までワンストップで行うことができる基幹相談支援センターを設置しては。

答弁（町長） 人口規模や相談支援体制、人材確保など実情に応じた設置について検討していく。



CSWは地域の身近な相談員です(画像引用元:東大阪市)

Q CSW配置事業を行っては

A 検討する



いつの日か！

久留島 元生 議員

定住促進住宅



質問（議員） 現在、町営住宅を申し込んでもくじに当たらないと相談を受ける。将来人口減に対する定住促進としても建設が喫緊の課題である。建設方式としてBTO方式が望ましい。特長としては、

- ① 財政負担は生じない
- ② 起債不要である
- ③ 町に残る剰余金が最大である
- ④ 民間活用した維持管理をする

⑤ 次世代にツケを残さない町民のため早期の着工が望まれるが、古民家空家、空地、町の遊休地などを活用して、近代的でバリアフリーの建物にし、子育て世代を中心とした人口増を図ってはどうか。

答弁（町長） 現在、入居の抽選は約2倍で概ね充足しているため定住促進住宅は考えていない。

Q 町営住宅の建設を促進しては

A 充足しているため現状を維持する

住吉 秀公 議員

環境美化



質問（議員） 11月12日に行われた西中学校区3校合同クリーンキャンペーンに参加したが、相変わらずタバコのポイ捨てが多い。罰金料つきのポイ捨て・歩行喫煙禁止条例を制定してはどうか。

答弁（町長） まずは「海田町美しいまちづくり条例」に罰則を規定し、啓発を行うことを検討する。

質問（議員） 福祉丸ごと相談窓口を地域福祉計画に位置付ける

質問（議員） 複合的な問題を抱えていた場合、どの窓口で相談するのか分からない。福祉丸ごと相談窓口を開設してはどうか。

答弁（町長） 第3次海田町地域福祉計画を策定中であり、「福祉丸ごと相談」は断らない相談支援として計画の中に位置付ける。

その他の質問

● 瀬野川洪水ハザードマップの改定を



心が痛みませんか？